

第19回

日本ヘルニア内視鏡外科 手術手技研究集会

テーマ

ロボヘル・ラパヘル

～お互いを理解しヘルニアを極める～

<https://www.k-cav.com/lapaher19/>

当番世話人 村上 慶洋(市立旭川病院 外科診療部長)

会 期 2023年8月26日(土)

会 場 旭川市大雪クリスタルホール

〒070-8003 北海道旭川市神楽3条7丁目1



TOUCHCLASS

MarbleSystems

- 医療における VX プラットフォーム - 「教育と安全の担保」



TOUCHCLASS TOUCHCLASS TOUCHCLASS

Learning Everywhere

- いつでもどこでも学べる -

ブック形式で手術手技動画やテキストを共有！



TOUCHCLASS

TOUCHCLASS を中心とした
理想の VX プラットフォームを構築

「すべての人に可能性を すべての人に喜びを」

「人のため」の VX を実践する。
(バリュー・トランスフォーメーション)

MarbleSystems



ご挨拶



第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会

当番世話人 **村上 慶洋**

市立旭川病院 外科診療部長

このたび、第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会を開催させて頂くこととなりました。分不相応な大役に身が引き締まる思いであります。

今回の第19回研究会は名称を日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会と名称を変更して初めての地方開催となります。また、本研究集会としては初めて、一般社団法人日本ヘルニア学会主催による教育セミナーも同時に開催されます。

ラパヘルではすでにTAPP,TEPが普及しておりますが、ロボット支援手術も含めて各々の術式を学ぶことが、ヘルニア手術の基本である安全確実なヘルニア修復に寄与するものと考え、今回のテーマを「ロボヘル・ラパヘル～お互いを理解しヘルニアを極める～」とさせて頂きました。また、指導医そして若手外科医がお互いを理解することも必要と考え、「教えたい・教わりたいポイント」についても議論して頂きたいと考えております。

北海道旭川市では初の開催となりますが、本研究集会の地方開催の一つの目的が安全確実なヘルニア手術の普及であることから、ラパヘルを導入されて間もない先生も含めて、様々なお立場の先生に演者をお願いしております。

本研究集会で演者としてご登壇頂く先生方にとっては多くの先生方にコメントを頂ける良い機会であると共に、ノーカットの動画を提示して頂くということで大変な緊張感もあるものと思います。

例年の研究集会と同様、活発な討論、そして演者への温かいコメントを頂けましたら幸甚に存じます。

鼠径ヘルニア手術は、多くの若手外科医が修練の初期から経験する手術であり、また一方で指導医が多く執刀、指導を通して、その奥深さを感じる手術でもあります。TAPP、TEP、さらにロボット支援手術について若手外科医、指導医が議論することは手術手技のみならず、腹部全体の解剖、教育における問題点などを追求することが重要で、それらを経験、年齢を問わず学べるような研究会となるよう準備を進めて参りました。至らない点もあるかと存じますが、活発な討論を行って頂き、皆様にとって実りのある会になることを願っております。

末筆では御座いますが、皆様の益々のご活躍と、施設のご発展を祈念申し上げます。

開催概要

第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会

テーマ：ロボヘル・ラパヘル～お互いを理解しヘルニアを極める～

会期：2023年8月26日(土)

会場：旭川市大雪クリスタルホール

〒070-8003 北海道旭川市神楽3条7丁目1

当番世話人：村上 慶洋(市立旭川病院 外科診療部長)

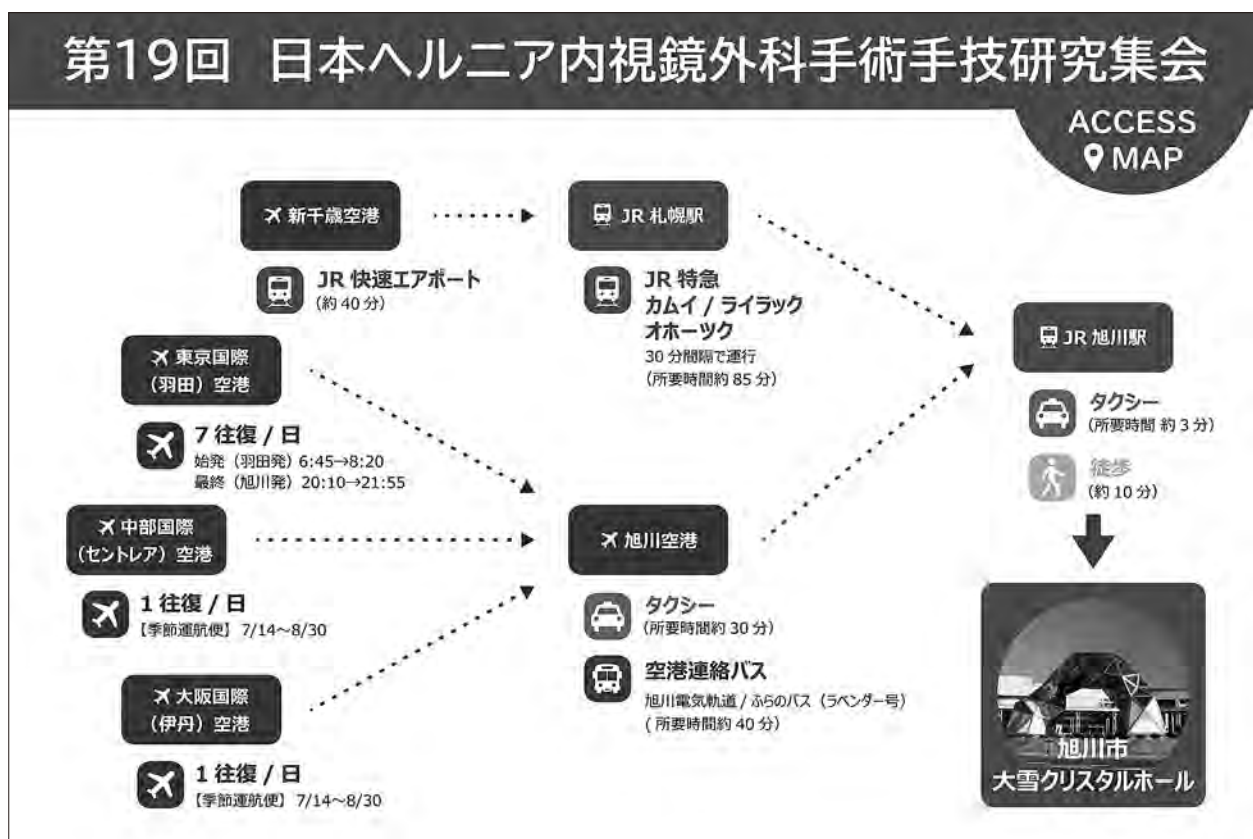
運営事務局：株式会社シーエーブイ

〒003-0004 札幌市白石区東札幌4条1丁目2-20 安全ビル5階

TEL:011-837-2155 FAX:011-837-2212

E-Mail:cv-t@kcav.co.jp

交通案内



会場案内

【会場】 旭川市大雪クリスタルホール

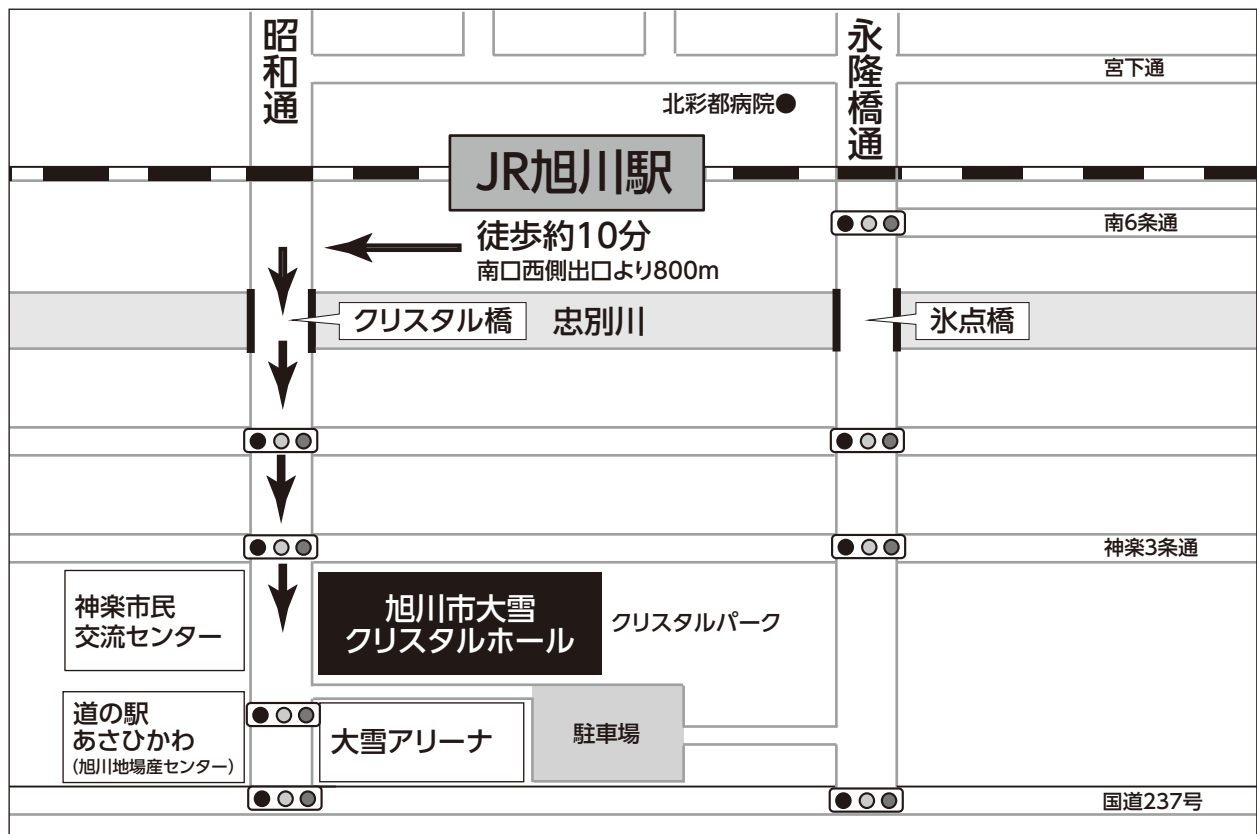
〒070-8003 北海道旭川市 神楽3条7丁目 TEL 0166-69-2000 (代表)

JR旭川駅から会場まで

タクシー 約3分 駅 **北口** または **南口東側口** を出て、タクシーのりばで乗車ください。

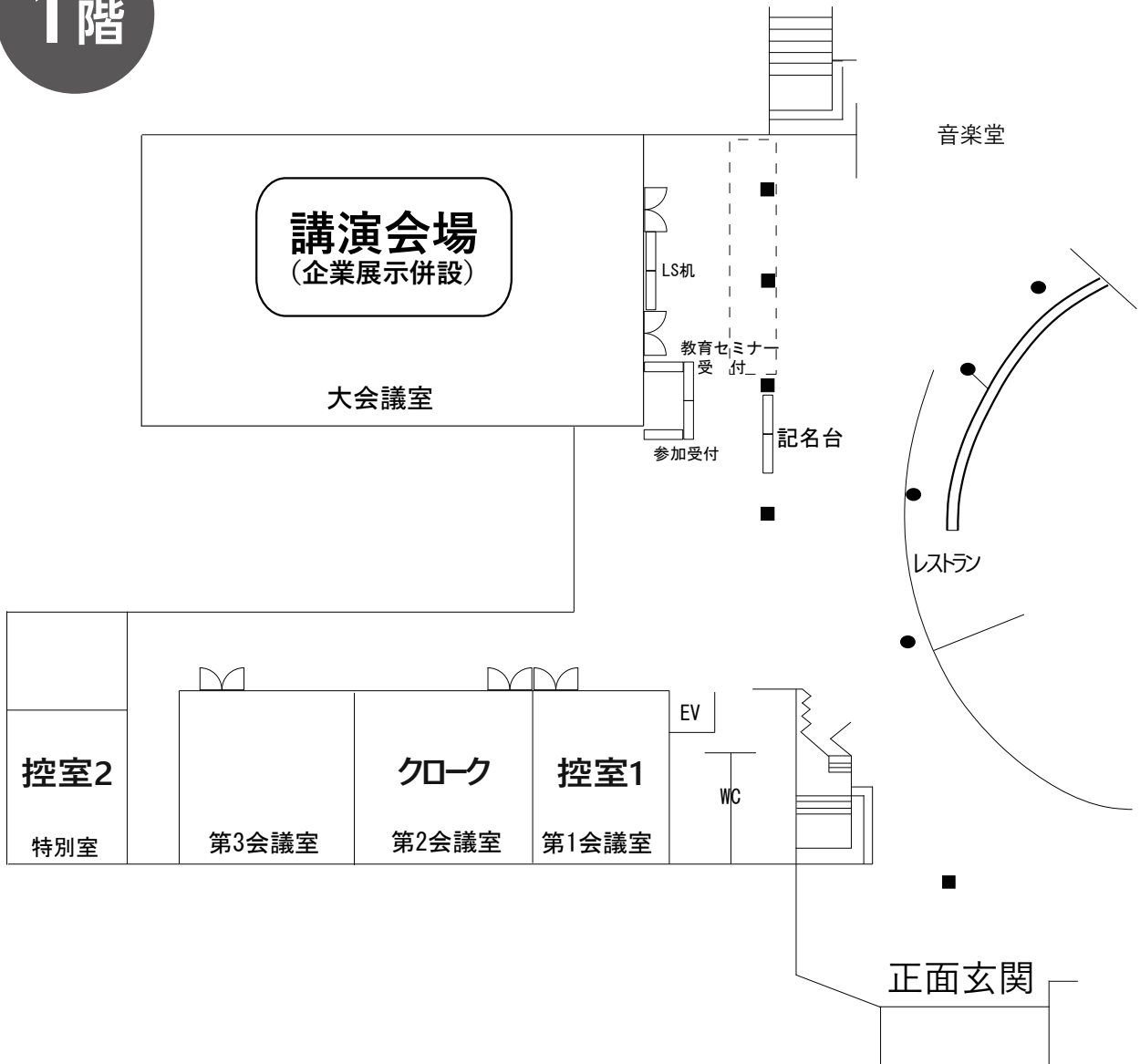
徒歩 約10分 駅 **南口西側口** ……【クリスタル橋】…… **会場**

※バスをご利用の場合、乗車したバスや待ち時間によって徒歩より時間がかかる場合がございます。



会場案内

1階



ご参加の皆様へ

1. 参加受付

8月26日(土)9:15～17:00

記名台にて「参加登録用紙」に必要事項を記入し、参加費を現金にてお支払いください。

参加証およびプログラム抄録集、アンケート、登録票(日本内視鏡外科学会技術認定医制度におけるセミナー参加資格)をお渡しいたします。お帰りの際には、アンケートの回収にご協力をお願い致します。

※旭川市大雪クリスタルホールは、午前9時以前には入場できませんので予めご留意ください。

2. 参加費

【医師】 5,000 円

【メディカルスタッフ、学生】 無料

3. 単位について

(1)本研究集会への参加は「日本内視鏡外科学会技術認定医制度におけるセミナー参加資格」において1点が加算されます。研究会当日、参加受付時に登録票をお渡しいたしますので必要事項を記入し、退出時に技術認定医制度用参加証(本研究集会の参加証とは別です)と交換いたします。途中からの参加、中途退出された場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

(2)10:40～11:30に開催する教育セミナー(主催:一般社団法人日本ヘルニア学会)については、2項目に参加されると、それぞれ1単位、計2単位を取得していただけます。なお、5月26日・27日に受講し、単位を取得された方は、再度の受講は可能ですが、追加で単位が付与されることはありませんので、ご注意ください。

また、本セミナーに於ける各単位は、現状では評議員申請や更新の必要項目とは規定されておりません。4項目4単位の受講が完了した際には、受講修了認定がなされます。

※教育セミナーの受講をご希望の方で、お申し込み、受講料の支払いがお済みでない場合は、当日までに教育セミナーのお申し込みおよび受講料(5,000円)のお支払いを完了してください。(教育セミナー受講申し込みは4項目4単位の受講確認と受講修了認定までを含みます。その都度の申し込みは不要です。)

<申し込みはこちら>

https://jhs.mas-sys.com/jhs_educational_seminar.html

※本研究集会の参加登録・参加費は、教育セミナー受講に必須ですのでご注意ください。

4. クローク

8月26日(土)9:15~17:30

貴重品や傘はお預かりできません。コインロッカーをご使用ください。

5. 共催セミナーについて

整理券の配布はございません。

6. その他

- (1)開催期間中は参加証をよく見えるように着用ください。参加証のない場合は講演会場への入場をお断りする場合がございますので何卒ご協力ください。
- (2)会場での盗難については当研究集会では責任を負いかねます。各自の責任で充分にご注意ください。
- (3)講演会場での写真撮影・ビデオ録画・録音等は演者の著作権保護のため禁止させていただきます。
- (4)講演会場ではマナーモードに設定ください。
- (5)会場内にwi-fiはございませんので予めご了承ください。
- (6)各講演で質問される方は所定のマイクを使用して、所属・氏名を述べてから簡潔明瞭にお願いします。円滑な進行にご協力ください。
- (7)本研究会では、各演者の発表を称え、拍手を推進いたします。各発表が終わりましたら温かい拍手をお願いいたします。

ご登壇者へのご案内

1. 受付について

本研究集会の司会・演者は本研究会の会員である必要があります。非会員の先生は、入会登録をお願いいたします。当日の研究集会参加費5,000円が会費に充てられます。

年会費はございません。

(日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究会のHPの入会登録フォームで事前の登録が可能です)

2. 各セッションの流れ

- ①演者の先生は、1分以内で自己紹介および症例提示を説明してください。
この時間が長くなると討論の持ち時間が短縮します。
- ②演者の先生は、7分間のビデオ2本を用いてプレゼンをお願いいたします。
ビデオを流し、プレゼンを行って頂きながら司会および参加者と討論を行って頂きます。
- ③ビデオが終了した場合、再度最初からビデオを流しながら討論を行って頂きますが、2本のビデオでのプレゼンと討論の持ち時間は演者一人20分となります。

3. 演者の先生へのご案内

- (1) 演者ご自身が執刀したラパヘル・ロボヘルの手術動画を発表してください。
 - (2) ビデオのプレゼンに関して下記ご用意ください。
 - ・自己紹介+症例提示スライド1-2枚
 - ・7分間のノーカットビデオ2カット
 - (3) 今回は原則的にセッション1,2ではTAPP・TEPのメリットやデメリットと感じる点、“教わる側・教える側”の立場でのポイントを、セッション3-5ではTAPP、TEP、ロボヘル、各々の術式のメリット・デメリット、各々の術式を理解することのメリットを明確にできるような場面の動画を選んでいただき、ノーカットビデオ7分を2本作成ください。
 - (4) ビデオは当速7分の動画を提出して下さい。動画速度の変更やフルビデオを早送りしてのプレゼンをご遠慮下さい。
 - (5) 発表動画は指定のDrop Boxに8月18日(金)までにアップロードして下さい。詳細は演者あてにメールをお送りいたしますのでご確認下さい。
- ※事前にデータ確認をさせていただき、不都合がある場合は運送事務局よりご連絡をさせていただきます。当日データ受付はございませんのでご留意ください。

4. 司会の先生へのご案内

- (1) 司会・演者受付後、ご担当セッションの開始10分前までに、会場内右前方の次司会席にご着席ください。
- (2) 進行は、時間厳守でお願い致します。

進行上必要な場合はビデオの一時停止などは行って頂いて構いませんが、大幅な遅延のないようにご配慮をお願い致します。ビデオが終了しましたら、再度最初から再生しながらの討論をお願い致します。演者一人の持ち時間は7分のビデオ2本と討論で20分となります。
- (3) 今回のテーマ“ラパヘル・ロボヘル～お互いを知りヘルニアを極める～”に沿って、各々の術式を理解することのメリット、加えて、“教える側・教わる側”に必要な姿勢やポイントをできるだけ明確にさせていただきようお願いいたします。

日程表

旭川市大雪クリスタルホール 大会議室	
10:00	【9時30分】 世話人会（第1会議室）
10:30~10:40	開会の挨拶 日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究会 代表世話人 早川 哲史 第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会 当番世話人 村上 慶洋
10:40~11:30	11:00 教育セミナー（主催：一般社団法人日本ヘルニア学会） セミナー開催にあたって：一般社団法人日本ヘルニア学会 理事長 蜂須賀丈博 演者：宮崎 恭介（みやざき外科・ヘルニアクリニック） 川原田 陽（斗南病院）
再入室（お弁当配布・JSES参加登録）	
12:00	12:00~12:50 ランチョンセミナー 共催：コヴィディエンジャパン株式会社 司会：江口 徹（原三信病院） 演者：中川 基人（平塚市民病院） 成田 匡大（京都医療センター）
13:00	12:55~13:35 セッション1 「TAPP~教わりたい・教えたいポイント」 司会：吉岡 慎一（八尾市立病院） 和田 英俊（島田市立総合医療センター） 演者：佐藤 好宏（東北医科薬科大学 消化器外科） 鶴田 覚（青森県立中央病院）
14:00	13:35~14:15 セッション2 「TEP~教わりたい・教えたいポイント」 司会：小丹枝裕二（北海道医療センター） 山田 秀久（NTT札幌病院） 演者：青木 佑磨（旭川赤十字病院） 鈴木 麗美（苫小牧市立病院）
14:15~14:35	セッション3 「ロボヘル・ラパヘル~お互いを理解して」 司会：谷田 司（市立東大阪医療センター） 斎藤 卓也（愛知医科大学 消化器外科） 演者：渡野邊郁雄（順天堂大学 練馬病院）
15:00	14:40~15:20 アフタヌーンセミナー 共催：株式会社アムコ 司会：川原田 陽（斗南病院） 演者：倉島 庸（北海道大学 消化器外科II） サシムパウデル（恵佑会札幌病院）
15:25~15:45	セッション4 「TAPP・TEPお互いを知る~TAPPの立場から」 司会：金平 文（メディカルトピア草加病院） 井谷 史嗣（広島市立広島市民病院） 演者：宮坂 衛（斗南病院）
16:00	15:45~16:05 セッション5 「TAPP・TEPお互いを知る~TEPの立場から」 司会：川原田 陽（斗南病院） 江口 徹（原三信病院） 演者：小丹枝裕二（北海道医療センター）
16:15~16:55	16:15~16:55 イブニングセミナー 共催：株式会社メディコン 司会：山本 海介（Kenクリニックそけいヘルニア手術センター） 演者：宮木祐一郎（聖隷浜松病院）
17:00	16:55~17:00 閉会の挨拶 第20回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会 当番世話人 金平 文 第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会 当番世話人 村上 慶洋

プログラム

10:30~10:40 開会の挨拶

早川 哲史 (代表世話人、名豊病院)
村上 慶洋 (第19回当番世話人、市立旭川病院)

10:40~11:30 一般社団法人日本ヘルニア学会 教育セミナー

開催にあたって：一般社団法人日本ヘルニア学会 理事長 蜂須賀 丈博
演者：宮崎 恭介 (みやざき外科・ヘルニアクリニック)
川原田 陽 (斗南病院)
主催：一般社団法人日本ヘルニア学会

12:00~12:50 ランチョンセミナー

【International Guidelineの謎解き ~世界共通のガイドラインが語った未来~】

司会：江口 徹 (原三信病院)
演者：中川 基人 (平塚市民病院)
成田 匡大 (京都医療センター)
共催：コヴィディエンジャパン株式会社

12:55~13:35 セッション1 「TAPP~教わりたい・教えたいポイント」

司会：吉岡 慎一 (八尾市立病院)
和田 英俊 (島田市立総合医療センター)
演者：佐藤 好宏 (東北医科薬科大学 消化器外科)
鶴田 覚 (青森県立中央病院)

13:35~14:15 セッション2 「TEP~教わりたい・教えたいポイント」

司会：小丹枝裕二 (北海道医療センター)
山田 秀久 (NTT札幌病院)
演者：青木 佑磨 (旭川赤十字病院)
鈴木 麗美 (苫小牧市立病院)

14:15~14:35 セッション3 「ロボヘル・ラパヘル～お互いを理解して」

司会：谷田 司（東大阪医療センター）
齋藤 卓也（愛知医科大学 消化器外科）
演者：渡野邊郁雄（順天堂大学 練馬病院）

14:40~15:20 アフタヌーンセミナー
「エビデンスに基づいたラパヘルの手技と教育を考える」

司会：川原田 陽（斗南病院）
演者1：「エビデンスに基づいたサージカルスモークを意識したラパヘル手術」
サシム パウデル（恵佑会札幌病院）
演者2：「エビデンスに基づいたラパヘル教育の実践」
倉島 庸（北海道大学 消化器外科学教室II）
共催：株式会社アムコ

15:25~15:45 セッション4 「TAPP・TEPお互いを知る～TAPPの立場から」

司会：金平 文（メディカルトピア草加病院）
井谷 史嗣（広島市立広島市民病院）
演者：宮坂 衛（斗南病院）

15:45~16:05 セッション5 「TAPP・TEPお互いを知る～TEPの立場から」

司会：川原田 陽（斗南病院）
江口 徹（原三信病院）
演者：小丹枝裕二（北海道医療センター）

16:15~16:55 イブニングセミナー
「TAPPにおける腹側環状切開のすすめ ～RTAPPの導入も見据えて～」

司会：山本 海介（Kenクリニックそけいヘルニア手術センター）
演者：宮木祐一郎（聖隷浜松病院）
共催：株式会社メディコン

16:55~17:00 閉会の挨拶

金平 文（第20回当番世話人、メディカルトピア草加病院）
村上 慶洋（第19回当番世話人、市立旭川病院）

略歴

ランチョンセミナー

中川 基人 (なかがわ もとひと)

平塚市民病院 外科

副病院長

略 歴

1962年 6月6日生まれ(新潟県長岡市)、現在61歳

1981年 3月 新潟県立 長岡高等学校 卒業

1987年 3月 秋田大学 医学部 医学科 卒業

1987年 5月 医師免許取得

慶應義塾大学 医学部 外科学教室入局、以後6年間の卒後研修

1993年 5月 川崎市立川崎病院 外科

1996年 5月 ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ・バンクーバー) 留学

1999年 5月 平塚市民病院 外科

2000年 3月 医学博士(慶應義塾大学・北島政樹教授)

2011年 4月 平塚市民病院 外科部長

2013年 4月 慶應義塾大学 医学部 客員講師(現在に至る)

2021年 4月 平塚市民病院 副病院長(現在に至る)

専門領域: 一般消化器外科、鼠径ヘルニア手術、腹腔鏡手術

専門医資格: 外科専門医

消化器外科専門医

内視鏡外科技術認定医

救急科専門医

消化器内視鏡専門医

指導医資格: 日本外科学会 指導医

日本胸部外科学会 指導医

日本消化器外科学会 指導医

日本消化器内視鏡学会 指導医

学会役職: 日本外科学会 代議員

日本臨床外科学会 評議員

日本内視鏡外科学会 評議員

日本ヘルニア学会 評議員

賞 罰: 第20回(平成25年度) 日本外科学会 研究奨励賞

趣 味: 散歩、読書、寄席通い、植栽の手入れ

略歴

ランチョンセミナー

成田 匡大(なりた まさとお)

生年月日: 1975年2月12日

勤務先: 京都医療センター外科

役職: 京都医療センター 外科 医長
京都大学医学部 臨床准教授

専門分野: 肝胆膵外科・鼠径ヘルニア術後慢性疼痛

学歴

1999年3月 大阪医科大学 卒業

2005年4月 京都大学医学部大学院入学(博士課程)

2009年3月 同上卒業

職歴

1999年5月- 2001年3月 大阪医科大学 一般消化器外科 研修医

2001年4月- 2004年3月 神鋼病院 外科 後期研修医

2004年4月- 2005年3月 神鋼病院 外科 医師

2009年4月- 2009年5月 京都大学医学部附属病院 肝胆膵移植外科 医員

2009年5月- 2011年2月 フランス・ストラスブール大学 オートピエール病院 外科研修医

2011年3月- 2011年4月 フランス・ストラスブール大学 オートピエール病院 客員教授

2011年5月- 2012年2月 京都大学医学部附属病院 肝胆膵移植外科 医員

2012年3月- 2020年10月 京都医療センター外科 医師

2016年4月 - 現在 京都大学医学部 臨床准教授

2020年11月 - 現在 京都医療センター外科 医長

資格

1999年 5月 医師免許証

2003年12月 日本外科学会 外科認定医

2006年12月 日本外科学会 外科専門医

2008年12月 日本消化器病学会 専門医

2010年 2月 Diplôme Inter Universitaire European Cancers
Hepato-Bilio-Pancreatiques: OncoSurgical Strategies

2012年 1月 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・消化器病がん外科治療認定医

2014年 1月 日本外科学会 外科指導医

2015年 6月 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医

2016年 6月 日本消化器外科学会 消化器外科指導医

2021年1月1日 内視鏡外科学会 技術認定医(消化器・一般外科:肝臓)

2022年7月28日 Certificate of da Vinci Surgical System Off-Site Training as a Console Surgeon

2023年6月22日 ロボット支援肝部分切除および外側区域切除プロクター

所属学会・役職

- 日本外科学会
- 日本消化器外科学会
- 日本肝胆膵外科学会(評議員)
- 日本臨床外科学会
- 日本消化器病学会
- フランス外科学会
- 膵臓学会
- 胆道学会
- ヘルニア学会(評議員・学会誌委員会委員・教育委員会委員・プロジェクト委員)
- 関西ヘルニア研究会世話人
- 日本LPEC研究会顧問
- ヨーロッパヘルニア学会
- 日本ペインクリニック学会
- Associated editor of the Asian Journal of Endoscopic Surgery

賞 与

- 2013年3月21日:第5回Journal of Gastroenterology High Citation Award
[Expression of OATP1B3 determines uptake of Gd-EOB-DTPA in hepatocellular carcinoma]
- 2022年12月10日:第35回日本内視鏡外科学会総会 カールストルツ賞
[保存的加療無効鼠径ヘルニア術後慢性疼痛症例に対する鏡視下再手術の成績と至適術式の提案]
- 2023年:日本ヘルニア学会 沖永賞
[鼠径ヘルニア待機的手術の選択肢の一つとしてShouldice法は許容できるか?]
2021:Vol7(2):28-39
- 2023年7月
第78回日本消化器外科学会 AGSurg Forum Award
[Who is the candidate for neoadjuvant chemotherapy in patients with carcinoma of the ampulla of Vater?]

査読論文

- Associate Editor of Asian Journal of endoscopic surgery
- British Journal of Surgery
- World Journal of Surgery
- Hepatology Research
- Journal of Pancreas
- BMC surgery
- International Journal of Surgery Case report
- Scientific Report

共同研究・競争的資金等の研究課題

- 本邦における成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態調査とそのリスク因子解析
-多施設共同前向きコホート研究-(H30-NHO(外科)-01)
国立病院機構ネットワーク研究
成田匡大

海外論文(First author)

- Narita M**, Hatano E, Nagata H, Yanagida A, Asechi H, Takahashi K, Ikai I, Uemoto S, Chin K
Prophylactic respiratory management after liver resection with bilevel positive airway pressure ventilation: Report of three cases.
Surg Today. 2009;39(2):172-4. doi: 10.1007/s00595-008-3815-6. Epub 2009 Feb 7.
- Narita M**, Hatano E, Ikai I, Miyagawa-Hayashino A, Yanagida A, Nagata H, Asechi H, Taura K, Uemoto S.
A phosphodiesterase III inhibitor protects rat liver from sinusoidal obstruction syndrome through heme oxygenase-1 induction.
Ann Surg. 2009 May;249(5):806-13.
- Narita M**, Hatano E, Arizono S, Miyagawa-Hayashino A, Isoda H, Kitamura K, Taura K, Yasuchika K, Nitta T, Ikai I, Uemoto S.
Expression of OATP1B3 determines uptake of Gd-EOB-DTPA in hepatocellular carcinoma.
J Gastroenterol. 2009;44(7):793-8.
- Narita M**, Hatano E, Tamaki N, Yamanaka K, Yanagida A, Nagata H, Asechi H, Takada Y, Ikai I, Uemoto S.
Dai-kenchu-to attenuates rat sinusoidal obstruction syndrome by inhibiting the accumulation of neutrophils in the liver.
J Gastroenterol Hepatol. 2009 Jun;24(6):1051-7
- Narita M**, Sakano S, Okamoto S, Uemoto S, Yamamoto M.
Tumescent local anesthesia in inguinal herniorrhaphy with a PROLENE Hernia System : Original technique and results
Am J Surg 2009 ; 198 : e27-e31
- Narita M**, Tanizawa K, Chin K, Ikai I, Handa T, Oga T, Niimi A, Tsuboi T, Mishima M, Uemoto S, Hatano E.
Noninvasive ventilation improves the outcome of pulmonary complications after liver resection.
Intern Med. 2010;49(15):1501-7.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Jaeck D, et al.
Sinusoidal obstruction syndrome negatively affects liver regeneration in patients undergoing two-stage hepatectomy combined with portal vein embolization.
Surg Today. 2011 Jan;41(1):7-17.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Bachellier P, Rosso E, Pessaux P, Jaeck D
Two-stage hepatectomy procedure to treat initially unresectable multiple bilobar colorectal liver metastases: technical aspects.
Dig Surg. 2011;28(2):121-6.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Jaeck D, Fuchshuber P, Rosso E, Pessaux P, Marzano E, Bachellier P. Two-stage hepatectomy for multiple bilobar colorectal liver metastases.
Br J Surg. 2011 Oct;98(10):1463-75
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Chenard MP, Fuchshuber P, Rosso E, Pessaux P, Jaeck D, Bachellier P.
Impact of biomarkers expression before and after portal vein embolization on recurrence after two-stage hepatectomy for colorectal liver metastases.
J Gastrointest Surg. 2012 Mar;16(3):554-61.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Jaeck D.
Sinusoidal obstruction syndrome impairs long-term outcome of colorectal liver metastases treated with resection after neoadjuvant chemotherapy.
Ann Surg Oncol. 2011 Dec;18 Suppl 3:S310.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Fuchshuber P, Pessaux P, Chenard MP, Rosso E, Nobili C, Jaeck D, Bachellier P. What is a safe future liver remnant size in patients undergoing major hepatectomy for colorectal liver metastases and treated by intensive preoperative chemotherapy?
Ann Surg Oncol. 2012 Aug;19(8):2526-38.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Chenard MP, Fuchshuber P, Rather M, Rosso E, Addeo P, Jaeck D, Bachellier P.
Liver injury due to chemotherapy-induced sinusoidal obstruction syndrome is associated with sinusoidal capillarization.
Ann Surg Oncol. 2012 Jul;19(7):2230-7.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Fuchshuber P, Chenard MP, Rosso E, Yamamoto K, Jaeck D, Bachellier P. Prolonged portal triad clamping increases postoperative sepsis after major hepatectomy in patients with sinusoidal obstruction syndrome and/or steatohepatitis.
World J Surg. 2012 Aug;36(8):1848-57.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Ikai I, Bachellier P, Jaeck D.
Right portal vein ligation combined with in situ splitting induces rapid left lateral liver lobe hypertrophy enabling 2-staged extended right hepatic resection in small-for-size settings.
Ann Surg. 2012 Sep;256(3):e7-8; author reply e16-7. No abstract available.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Chenard MP, Fuchshuber P, Yamamoto T, Addeo P, Jaeck D, Bachellier P.
Predicting early intrahepatic recurrence after curative resection of colorectal liver metastases with molecular markers.
World J Surg. 2015 May;39(5):1167-76.
- Narita M**, Oussoultzoglou E, Bachellier P, Jaeck D, Uemoto S.
Post-hepatectomy liver failure in patients with colorectal liver metastases.
Surg Today. 2015 Oct;45(10):1218-26.
- Narita M**, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Liver parenchymal sparing surgery for locally advanced gallbladder cancer with extracapsular lymph node invasion.
World J Surg Oncol. 2014 Jun 10;12:183.
- Narita M**, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Precaution against postoperative venous complications after major hepatectomy using the pedicled omental transposition flap: Report of two cases.
Int J Surg Case Rep. 2014;5(10):646-51.
- Narita M**, Endo B, Mizumoto Y, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Multicentric recurrence of intraductal papillary neoplasms of bile duct in the remnant intrahepatic bile duct after curative resection.
Int J Surg Case Rep. 2015;12:123-7.
- Narita M**, Moriyoshi K, Hanada K, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Successful treatment for patients with chronic orchialgia following inguinal hernia repair by means of meshoma removal, orchiectomy and triple-neurectomy.
Int J Surg Case Rep. 2015;16:157-61.
- Narita M**, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Double Purse-String Telescoped Pancreaticogastro stomy using an Atraumatic Self-retaining Ring Retractor in a Subtotal Stomach-Preserving Pancreaticoduodenectomy.
Ann Surg Oncol. 2016 Mar;23(3):1034.
- Narita M**, Ikai I.
Spontaneous Rupture of Anaplastic Pancreatic Cancer.
J Gastrointest Surg. 2016 Mar;20(3):664-5
- Narita M**, Hata H, Ikai I.
Portal annular pancreas: An unusual pancreatic anomaly.
J Visc Surg. 2016 Apr;153(2):153-5
- Narita M**, Moriyoshi K, Hanada K, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Laparoscopic Resection of an Epidermoid Cyst Arising from Intrapancreatic Accessory Spleen
Journal of the pancreas 2016 23(1):138-141

26. **Narita M**, Jikihara S, Hata H, Matsusue R, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Surgical experience of laparoscopic retroperitoneal triple neurectomy for a patient with chronic neuropathic inguinalgia
Int J Surg Case Rep 2017 40:80-84
27. **Narita M**, Ikai I, Fuchshuber P, Bachellier P, Jaeck D. 22. Nodal involvement. In: De Santibanes E, Ardiles V, Alvarez FA, Busnelli VC, De Santinanes M, editors. *Extreme Hepatic Surgery and Other Strategies*. Switzerland: Springer; 2017. p. 317-331.
28. **Narita M**
Do not open Pandora's box!
Asian J Endosc Surg. 2019 Feb 11. [Epub ahead of print]
29. **Narita M**, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Is the remnant pancreas still working over a year after surgery in patients undergoing pancreaticoduodenectomy with reconstruction by pancreaticogastrostomy?
Pancreatol 2020 Mar;20(2):217-222.
30. **Narita M**, Moriyoshi K
Is the nerve in the inguinal canal really protected by an investing fascia? Is it a real entity?
Hernia 2020 26 September. Online ahead of print
31. **Narita M**, Munekage F, Yamaoka R, Ikai I.
Mesh shrinkage is the potential pathogenesis of chronic somatic pain following transabdominal preperitoneal repair: Report of two cases.
Asian J Endosc Surg. 2021 Mar 25. doi: 10.1111/ases.12935. Online ahead of print.
32. **Narita M**, Moriyoshi K, Kentaro G, Yamaoka R, Yamaguchi T.
A pathological perspective to painful inguinal hernia: Report of two cases
Int J Surg Case Rep. 2021 Sep;86:106389.
6. Kitamura K, Hatano E, Higashi T, **Narita M**, Seo S, Nakamoto Y, Yamanaka K, Nagata H, Taura K, Yasuchika K, Nitta T, Uemoto S.
Proliferative activity in hepatocellular carcinoma is closely correlated with glucose metabolism but not angiogenesis.
J Hepatol. 2011 Oct;55(4):846-57
7. Yanagida A, Iwaisako K, Hatano E, Taura K, Sato F, **Narita M**, Nagata H, Asechi H, Uemoto S, Kinoshita M.
Downregulation of the Wnt antagonist Dkk2 links the loss of Sept4 and myofibroblastic transformation of hepatic stellate cells.
Biochim Biophys Acta. 2011 Nov;1812(11):1403-11
8. Nakamura K, Hatano E, **Narita M**, Miyagawa-Hayashino A, Koyama Y, Nagata H, Iwaisako K, Taura K, Uemoto S.
Sorafenib attenuates monocrotaline-induced sinusoidal obstruction syndrome in rats through suppression of JNK and MMP-9.
J Hepatol. 2012 Nov;57(5):1037-43.
9. Yamanaka K, Hatano E, Iguchi K, Yamamoto G, Sato M, Toriguchi K, Tanabe K, Takemoto K, Nakamura K, Koyama N, **Narita M**, Nagata H, Taura K, Uemoto S.
Effect of olprinone on liver microstructure in rat partial liver transplantation.
J Surg Res. 2013 Jul;183(1):391-6.
10. Koyama Y, Taura K, Hatano E, Tanabe K, Yamamoto G, Nakamura K, Yamanaka K, Kitamura K, **Narita M**, Nagata H, Yanagida A, Iida T, Iwaisako K, Fujinawa H, Uemoto S.
Effects of oral intake of hydrogen water on liver fibrogenesis in mice.
Hepatol Res. 2014 Jun;44(6):663-677.
11. Yamanaka K, Hatano E, Kanai M, Tanaka S, Yamamoto K, **Narita M**, Nagata H, Ishii T, Machimoto T, Taura K, Uemoto S.
A single-center analysis of the survival benefits of adjuvant gemcitabine chemotherapy for biliary tract cancer.
Int J Clin Oncol. 2014;19(3):485-9.
12. Nakamura K, Hatano E, Miyagawa-Hayashino A, Okuno M, Koyama Y, **Narita M**, Seo S, Taura K, Uemoto S.
Soluble thrombomodulin attenuates sinusoidal obstruction syndrome in rat through suppression of high mobility group box 1.
Liver Int. 2014 Nov;34(10):1473-87.
13. Ferreira N, Oussoultzoglou E, Fuchshuber P, Ntourakis D, **Narita M**, Rather M, Rosso E, Addeo P, Pessaux P, Jaeck D, Bachellier P.
Splenic vein-inferior mesenteric vein anastomosis to lessen left-sided portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with concomitant vascular resection.
Arch Surg. 2011 Dec;146(12):1375-81.
14. Rosso E, Lopez P, Roedlisch MN, **Narita M**, Oussoultzoglou E, Bachellier P.
Double omental flap reduced perianastomotic collections and relaparotomy rates after pancreaticoduodenectomy with pancreaticogastrostomy.
World J Surg. 2012 Jul;36(7):1672-8.
15. Ogiso S, Ikai I, **Narita M**, Murakami T, Hata H, Yamaguchi T, Otani T.
Parenchyma-sparing anatomical liver resection based on Hjortsjo's concept: a venous-drainage-guided approach to identify the ventral segment fissure.
Langenbecks Arch Surg. 2013 Jun;398(5):751-8.
16. Hanada K, **Narita M**, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.
Chronic inguinal pain after laparoscopic intraperitoneal onlay mesh (IPOM) repair for inguinal hernia treated successfully with laparoscopic selective neurectomy: A case report
Int J Surg Case Rep 2017; 38:172-175
17. Moriyama M, **Narita M**, Moriyoshi K.
Who is a candidate for open anterior hernia repair in the era of laparoscopic surgery?
Asian J Endosc Surg. 2023 Jun 30. doi: 10.1111/ases.13224. Online ahead of print.

Publications (Co-author)

1. Nagata H, Hatano E, Tada M, Murata M, Kitamura K, Asechi H, **Narita M**, Yanagida A, Tamaki N, Yagi S, Ikai I, Matsuzaki K, Uemoto S.
Inhibition of c-Jun NH2-terminal kinase switches Smad3 signaling from oncogenesis to tumor-suppression in rat hepatocellular carcinoma.
Hepatology. 2009 Jun;49(6):1944-53
2. Kitamura K, Hatano E, Higashi T, Seo S, Nakamoto Y, **Narita M**, Taura K, Yasuchika K, Nitta T, Yamanaka K, Doi R, Ikai I, Uemoto S.
Prognostic value of (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients with extrahepatic bile duct cancer.
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Jan;18(1):39-46
3. Asechi H, Hatano E, Nitta T, Tada M, Iwaisako K, Tamaki N, Nagata H, **Narita M**, Yanagida A, Ikai I, Uemoto S.
Resistance to cisplatin-induced apoptosis via PI3K-dependent survivin expression in a rat hepatoma cell line.
Int J Oncol. 2010 Jul;37(1):89-96.
4. Yamanaka K, Hatano E, **Narita M**, Kitamura K, Yanagida A, Asechi H, Nagata H, Taura K, Nitta T, Uemoto S.
Olprinone attenuates excessive shear stress through up-regulation of endothelial nitric oxide synthase in a rat excessive hepatectomy model.
Liver Transpl. 2011 Jan;17(1):60-9
5. Yamanaka K, Hatano E, **Narita M**, Taura K, Yasuchika K, Nitta T, Arizono S, Isoda H, Shibata T, Ikai I, Sato T, Uemoto S.
Comparative study of cisplatin and epirubicin in transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma.
Hepatol Res. 2011 Apr;41(4):303-9.

海外での学会発表(口演)

1. Prolene Hernia System patch in adult inguinal and femoral herniorrhaphy under local anesthesia. 39th Congress of the European Society for Surgical Research, Athens, May 2004, Greece.
2. Impact of portal vein embolization on biomarkers expression and recurrence in patients undergoing two-stage hepatectomy. 15th Congress of the European Society of Surgical Oncology, September 2010, Bordeaux, France
3. Liver injury due to chemotherapy-induced sinusoidal obstruction syndrome is associated with sinusoidal capillarization. 21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists, Nov 2011, Tokyo, Japan
4. Determination of safe future liver remnant ratio prior to major hepatectomy in patients with colorectal liver metastases. 10th World Congress of the International Hepato-Pancreato-biliary Association. July 2012, Paris, France
5. Presentation as an invited speaker; Debate session: ALPPS for CRC liver metastasis - Cons. 66th Congress of the Korean Surgical Society, Nov. 2014, Seoul, Korea.
6. Therapeutic Strategy for Patients with refractory chronic pain following inguinal hernia repair. 1st World Conference on abdominal wall hernia surgery, April 2015, Milan, Italy.
7. Successful treatment of refractory chronic neuropathic pain after inguinal hernia repair by means of Laparoscopic Retroperitoneal Triple Neurectomy. 39th Annual International Congress of the European Hernia Society, May 2017, Vienna, Austria
8. Algorithm-based approach for management of refractory chronic postoperative inguinal pain 41th Annual international Congress European Hernia Surgery, September 2019, Hamburg, Germany

海外での学会発表(ポスター)

1. Extirpation of ilioinguinal nerve to prevent chronic pain after inguinal and femoral herniorrhaphy. 40th Congress of The European Society for Surgical Research, Konya, May 2005, Turkey
2. Phosphodiesterase III inhibitor overcomes rat liver from sinusoidal obstruction syndrome through heme oxygenase-1 induction. 43rd Annual Meeting of the European Association For the Study of the Liver, April 2008, Milano, Italy
3. Phosphodiesterase III inhibitor overcomes rat liver from sinusoidal obstruction syndrome through heme oxygenase-1 induction. The 59th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Disease, Oct-Nov 2008, San Francisco, USA.
4. Prevention from neuralgia following inguinal hernia repair : What should we know ? 38th Annual International Congress of the European Hernia Society, June 2016, Rotterdam, The Netherlands.
5. Adjuvant chemotherapy of S-1 vs S-1 plus metformin for resected pancreatic cancer: A multicenter-randomized phase II trial. #G119 Gastrointestinal Cancers Symposium, January 17-19, 2019, San Francisco, CA
6. V2647; Laparoscopic approach for patients with refractory postoperative chronic pain. Americas Hernia Society Annual Meeting, March 11-14, 2019, Las Vegas,

和論文(First Author)

1. 成田匡大, 山本俊二, 岡本正吾, 坂野茂, 山本正之
鼠径ヘルニア術後の神経因性疼痛に鎮痛補助薬が有効であると考えられた1例
臨床外科 2008; 63: 427-9
2. 成田匡大, 山本俊二, 岡本正吾, 坂野茂, 山本正之
経過観察中に脾捻転を起こした脾嚢胞の一例
日本臨床外科学会雑誌 2008; 69: 166-70
3. 成田匡大, 岡本正吾, 小柴孝友, 山神和彦, 坂野茂, 山本正之
成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛に対する予防的腸骨鼠径神経摘出
日本消化器外科学会雑誌 2008; 41: 1765-1774
4. 成田匡大, 山本俊二, 亥野恵一, 坂野茂, 岡本正吾, 山本正之
腹腔鏡下手術を施行したupside down stomachの一例
手術 2009; 63: 395-8
5. 成田匡大
新規抗癌剤オキサリプラチンによる肝障害Sinusoidal obstruction syndrome発症のメカニズムと大建中湯による肝障害軽減効果
Prog Med 2009; 29: 82-3
6. 成田匡大, 上本伸二
肝胆膵外科手術における高齢者対策
臨床外科 2012; 67: 1142-5
7. 成田匡大, 花田圭太, 松末亮, 畑啓昭, 山口高史, 大谷哲之, 猪飼伊和夫
アルゴリズムを用いた成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛に対する治療介入とその成績
日本消化器外科学会雑誌 2017; 50: 513-20
8. 成田匡大, 宮崎 恭介
腹腔鏡下ヘルニア手術を施行する外科医が知っておくべき神経解剖—術後神経障害性疼痛の発症を減らすために
日本内視鏡外科学会2019年11月 24巻6号, pp.473-483
9. 成田匡大
鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛に対する鏡視下再手術の工夫
外科 82巻2号:157-163 2020
10. 成田匡大, 宗景史晃, 後藤健太郎, 山岡竜也, 松末亮, 畑啓昭, 山口高史
鼠径ヘルニア待機的手術の選択肢の一つとしてShouldice法は許容できるか?
日本ヘルニア学会誌 2021; 7(2):28-39.
11. 成田匡大
Shouldice法
手術 2022 ;76(6):877-883

著書

1. 研修医のための見える・わかる外科手術「どんな手術?何をやるの?」基本と手順がイラスト300点でイメージできる
羊土社第3章 各科の手術手順と操作のポイント 12. 肝臓手術 p.206-229
2. 京大式肝臓外科の全て 最新医学社
各論 S7切除 p.184-189
各論 S8切除 p.190-195
3. EOB-MRI/Sonazoid超音波による肝臓の診断と治療
医学書院 2013年6月15日初刷
第一部・第四章・3.EOBの取り込み・排泄トランスポーター 排泄係トランスポーター(各論) p54-58
4. Extreme Hepatic Surgery and Other Strategies.
22. Nodal involvement. In: De Santibanes E, Ardiles V, Alvarez FA, Busnelli VC, De Santinanes M, editors. Switzerland: Springer; 2017. p. 317-331.
5. 外科レジデントのための肝胆膵のベーシック手術
日本医事新報社 2023年2月10日初版
1章 肝臓 6. 肝右葉切除 p.64-81

国内学会 上級演題発表 (First Author)

1. 門脈血栓療法が一期的切除不能結腸直腸癌肝転移に対して及ぼす腫瘍学的影響
パネルディスカッション11 大腸癌肝転移における新たな治療戦略
第73回日本臨床外科学会総会 2012年11月18日 京王プラザホテル 東京
2. 当院における成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の治療アルゴリズム
パネルディスカッション5 術後慢性疼痛に対する予防法と治療法
第13回日本ヘルニア学会学術集会 2015年5月23日 ウィンクあいち 名古屋
3. アルゴリズムを用いた成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の治療
パネルディスカッション2 鼠径部ヘルニア術後慢性疼痛に対する予防法と治療法の実践
第15回日本ヘルニア学会学術集会 2017年6月2日 東京ドームホテル 東京
4. 当院における成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の治療と成績
パネルディスカッション2 鼠径部ヘルニア術後の慢性疼痛に対する挑戦、治療戦略
第16回日本ヘルニア学会学術集会 2018年6月29日 札幌コンベンションセンター 札幌
5. 鼠径ヘルニア手術で知っておくべき神経解剖-術後神経因性疼痛の発症ゼロを目指して-
教育講演5
第16回日本ヘルニア学会学術集会 2018年6月30日 札幌コンベンションセンター 札幌
6. 成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の系統的治療
パネルディスカッション4 ヘルニア術後疼痛に対する予防策、治療法に関する工夫
第17回日本ヘルニア学会学術集会 2019年5月24日 都ホテル四日市 四日市
7. 肝内胆管癌治療におけるClinical Questionに対するKHBOの多施設共同前向き試験
第55回日本肝癌研究会 2019年7月5日 ホテル椿山荘 東京
8. 鼠径ヘルニア術後慢性疼痛に対する鏡視下再手術の工夫
ビデオシンポジウム8 消化器外科における再手術・再切除に対する工夫
第74回日本消化器外科学会総会 2019年7月18日 グランドプリンスホテル新高輪 東京
9. Non-mesh pure tissue repair- Shouldice法の可能性
ワークショップ10 鼠径ヘルニアに対する治療の現状(TEP or TAPP or 前方)
第82回日本臨床外科学会総会 2020年10月29日 Web
10. 本邦における鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態-多施設共同前向き研究シンポジウム3 Evidence from Japanを発信していこう-どうすれば比較試験はできるのか
第18回日本ヘルニア学会学術集会 2020年11月3日 Web
11. Shouldice法-古くて新しい「メッシュを使わない」鼠径ヘルニア手術
ワークショップ18 ヘルニア(鼠径、癒痕)手術の新知見
第75回日本消化器外科学会総会 2020年12月17日 Web
12. 妊孕性を有する男性症例には組織修復法をOptionとして提示するべきである
パネルディスカッション17 年齢を考慮した鼠径ヘルニアに対するBest approach
第121回日本外科学会定期学術集会 2021年4月10日 Web
13. 本邦における鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態 多機関共同前向き研究
シンポジウム1 世界へ発信できる日本発ヘルニアのエビデンス
第20回 日本ヘルニア学会学術集会 2022年6月3日 パシフィコ横浜 横浜
14. 鼠径部ヘルニア術後慢性疼痛に対する至適術式の検討
ワークショップ3 外科医の心痛:慢性疼痛の治療経験
第20回 日本ヘルニア学会学術集会 2022年6月4日 パシフィコ横浜 横浜
15. Shouldice法
ビデオシンポジウム8 ヘルニア手術を極める
第47回 日本外科系連合学会学術集会
2022年6月17日 アイーナいわて県情報交流センター 盛岡

学会座長

1. ポスターP-0965- 0971 膀胱:悪性疾患(化学療法あり)3
第75回日本臨床外科学会総会 2016年11月26日 グランドプリンスホテル新高輪 東京
2. Poster 61 Pancreas 20
Joint congress of 6th A-PHPBA 29th JSHBPS 9 June 2017, Yokohama, Japan
3. ePoster 117 胆嚢・総胆管7
第30回日本内視鏡外科学会総会 2017年12月8日 国立京都国際会館 京都
4. ポスター51 腹壁癒痕ヘルニア5
第16回日本ヘルニア学会学術集会 2018年6月30日 札幌コンベンションセンター 札幌
5. 一般演題190 胆嚢 その他2
第31回 日本内視鏡外科学会総会 2018年12月8日 福岡国際会議場 福岡
6. 一般演題16 術後フォローアップ
第17回日本ヘルニア学会学術集会 2019年5月24日 都ホテル四日市 四日市
7. Mini Oral 312 ヘルニア 偶発症・合併症2
第32回 日本内視鏡外科学会総会 2019年12月7日 パシフィコ横浜 横浜
8. Poster 10 Liver 10
第34回日本肝胆膵外科学会 学術集会 2022年6月10日 愛媛県民会館 松山

略歴

アフタヌーンセミナー

倉島 庸 Yo Kurashima, MD, PhD, FACS

勤務先: 北海道大学大学院医学院医学研究院 クリニカルシミュレーションセンター
北海道大学大学院医学院医学研究院 消化器外科学教室II

専門: 上部消化管、内視鏡外科、外科教育

役職: クリニカルシミュレーションセンター主任・准教授
消化器外科II 上部消化管グループ教官
外科教育研究グループ主任

略歴

平成 9 年 秋田大学医学部卒業
平成 19 年 北海道大学医学博士学位取得
平成 9-14年 北海道大学第二外科入局後、北海道内研修病院で修練
平成14-17年 北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野 胃癌基礎研究
平成21-24年 **カナダMcGill University低侵襲外科にて外科教育学留学**
平成 24 年 4月 北海道大学病院消化器外科II勤務
平成 28 年 1月 北海道大学クリニカルシミュレーションセンター 主任・准教授

所属学会、資格

日本外科教育研究会(代表世話人)

日本外科学会専門医・指導医、

日本消化器外科学会専門医・指導医

日本内視鏡外科学会評議委員・技術認定医(胃)

日本医学教育学会代議員・専門医教育委員会

日本消化器病学会専門医

日本食道学会食道科認定医

日本ヘルニア学会 評議員(プロジェクト委員)

Fellow of the American College of Surgeons (FACS)

The Association for Surgical Education (ASE):Chair of International task force

The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (SAGES)

Fundamentals of Laparoscopic Skills (FLS) program certified by SAGES

国際受賞歴

2012 International Surgical Education Scholar of American College of Surgeons

2020 Association for Surgical Education: Distinguished Mid-Career Educator Award

アピールポイント

外科教育および外科教育研究の普及・促進を目指して、2014年に全国の同志と「日本外科教育研究会」を設立し、代表世話人として日本国内外で活動しています。

略歴

アフタヌーンセミナー

サシーム パウデル

現職

恵佑会札幌病院 消化器外科

略歴

2008年3月 北海道大学医学部卒
2008年4月 北海道大学病院 初期研修医
2010年5月 カトマンズ医科学学校救急部、パターン病院(ネパール)医師
2011年4月 斗南病院 外科医師
2012年4月 余市協会病院 外科医師
2013年4月 北海道大学病院消化器外科II 医員
2016年4月 製鉄記念室蘭病院 外科 医長
2017年3月 北海道大学大学院医学研究科 博士課程
学位論文:安全かつ効率的な腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術のトレーニングシステムの構築
2022年4月 国立がんセンター東病院 大腸外科 がん専門修練医
2023年4月 恵佑会札幌病院 消化器外科 (現職)

所属学会

日本外科学会・専門医
日本消化器外科学会・専門医
日本内視鏡外科学会・技術認定
日本ヘルニア学会・評議員
日本外科教育研究会・世話人
Association of Surgical Education
Society of American Gastroenterological Endoscopic Surgeons・FUSE資格者

略歴

イブニングセミナー

宮木 祐一郎(ミヤキ ユウイチロウ)

1975年生まれ48歳

所 属: 聖隷浜松病院 外科

役 職: 一般外科部長・ヘルニアセンター長

略 歴

2000年 国立浜松医科大学医学部医学科 卒業【医学学士 修得】

2011年 国立浜松医科大学大学院医学系研究科博士課程修了【医学博士 修得】

(医博第 608 号 : Identification of a potent epigenetic biomarker for resistance to camptothecin and poor outcome to irinotecan based chemotherapy in colon cancer カンプトテシン耐性と大腸癌に対するイリノテカンを基軸とした化学療法の治療抵抗性に関する有力なエピジェネティックバイオマーカーの同定)

2001年～ 国立浜松医科大学付属病院 (外科学第一講座 医員)

2002年～ 静岡県立総合病院 (外科 医員)

2004年～ 大垣市民病院 (外科 医員)

2006年～ 大学院生(浜松医科大学)

2010年～ 国立大学法人浜松医科大学 (外科学第一講座 助教)

2014年～ 聖隷浜松病院 外科 医員

2017年～ 聖隷浜松病院 上部消化管 外科 医長

2019年～ 聖隷浜松病院 上部消化管外科 主任医長

2020年～ 聖隷浜松病院 一般外科 部長

2021年～ 聖隷浜松病院 一般外科 部長 兼 ヘルニアセンター長

所属学会・研究会

日本ヘルニア学会(評議員)、日本 LPEC 研究会(世話人)、

日本内視鏡外科学会(評議員・内視鏡外科技術認定医)、日本外科学会(外科専門医)、

日本消化器外科学会(消化器外科専門医、日本臨床外科学会、日本外科感染症学会(ICD)、

静岡内視鏡外科研究会 監事

受賞歴

- 2008 年 11 th World Congress of Endoscopic Surgery【 Young Investigators Award 】
「 The laparoscopic transabdominal preperitoneal mesh repair (TAPP) for recurrent groin hernia. 」
- 2017 年 第 135 回 遠江医学会【 学術奨励賞 】「鼠径ヘルニア診断困難例の検討」
- 2017 年 第 30 回 日本内視鏡外科学会 総会【 Surgical Forum Award 】「腹壁癒痕
ヘルニア治療成績と戦略」
- 2018 年 第 16 回 日本ヘルニア学会 学術集会【 支部 演題 賞 】「巨大腹壁癒痕ヘルニアに対する
IPOM plus with Endoscopic Component Separation の経験」
- 2022 年 日本臨床外科学会 令和 4 年度【優秀論文賞】「 Endoscopic component
separation を併施した巨大鼠径ヘルニアの 1 例」

略歴

セッション1 演者

佐藤 好宏

東北医科薬科大学 消化器外科

経歴

平成20年 東北大学卒業
平成24年 東北大学消化器外科 入局
平成28年 東北大学大学院卒業
令和4年 東北医科薬科大学病院 消化器外科

演者からの一言

高位腹膜切開+タッカーレスのTAPP法に取り組んでおります。
エキスパートの先生方にご指導賜れますと幸いです。

鶴田 覚

青森県立中央病院 外科

経歴

平成26年 4月 青森県立中央病院(初期研修医)
平成28年 4月 青森市民病院(外科医師)
平成29年 4月 弘前大学医学部附属病院消化器乳腺甲状腺外科(医員)
平成30年 4月 国立成育医療研究センター研究所再生医療センター生殖医療研究部(共同研究員)
令和2年 4月 むつ総合病院(副部長)
令和3年 4月 弘前大学医学部附属病院消化器乳腺甲状腺外科(医員)に採用
令和4年 4月 青森県立中央病院(医師)に採用

演者からの一言

ラパヘルの素晴らしさに魅了され、前方アプローチのみ行われていた病院へ異動後に指導者も不在の中ラパヘルを導入し症例は少ないですが少しずつ取り組んでいます。皆様に御意見・御指導を賜われたら、そして多くの方と繋がれたらと思います。当日はよろしくお願ひします。

略歴

セッション2 演者

青木 佑磨

旭川赤十字病院 外科

経歴

2007年 3月 札幌南高校卒業
2009年 4月 北海道大学医学部入学
2015年 3月 北海道大学医学部卒業
2015年 4月 河北総合病院研修医(3年研修)
2018年 4月 NTT東日本札幌病院外科
2019年 4月 北大病院消化器外科II
2020年 4月 北大腫瘍病理学教室(研究)
2022年10月 旭川赤十字病院外科(現職)

演者からの一言

必要な手技は少ないのに奥深いTEP。学びつつ今後は指導できるようになって広めていきたいです。

鈴木 麗美

苫小牧市立病院 外科

経歴

2018年 札幌医科大学卒
卒後1,2年目 砂川市立病院 初期研修医
卒後3年目 北海道大学病院 第一外科
卒後4年目 岩見沢市立病院 外科
卒後5年目 北海道医療センター 外科
卒後6年目(現在) 苫小牧市立病院 外科

演者からの一言

TEP、TAPP、前方、ロボヘル 全て奥深くて面白い!TEPの分野から知見を広げて、ヘルニア手術の楽しさをみんなに広めて行きたいです!

略歴

セッション3 演者

渡野邊 郁雄

順天堂大学練馬病院 総合外科

略歴

- 1995年 順天堂大学 医学部卒業
 1995年 順天堂大学 外科初期研修
 1997年 順天堂大学 第2外科学講座 入局
 1998年 埼玉県越谷市立病院 外科
 2001年 東京労災病院 外科
 2003年 順天堂大学 肝胆膵外科学講座 助手
 2004年 哺育会 浅草病院 外科
 2007年 順天堂大学 肝胆膵外科学講座 助教
2009年 細々とTAPP開始
 2013年 順天堂大学練馬病院 総合外科 (肝胆膵外科学講座内 助教)
 2018年 順天堂大学練馬病院 総合外科 (肝胆膵外科学講座内 准教授)
 2022年 順天堂大学練馬病院 総合外科 (肝胆膵外科学講座内 前任准教授)

演者からの一言

ロボヘル導入後しばらくは腹膜高位切開でのTAPP法(SAC引き抜き)を行なっていました。この手技はI-P tractより腹側の剥離操作は安定していて素晴らしいのですが、背側の剥離操作において後輩への指導を意識した現在では一般的なTAPP手技、つまり内鼠径輪近傍から腹膜切開を開始したSAC環状切開でのロボヘルを行なうようになりました。当日は皆様の率直な御意見・御指導をいただけましたら幸いです。

略歴

セッション4 演者

宮坂 衛

国家公務員共済組合連合会 斗南病院 外科

経歴

- 2013年 札幌医科大学 卒業
製鉄記念室蘭病院、市立旭川病院で研修
- 2017年 北海道大学病院 消化器外科Ⅱ
- 2018年～ 北海道大学、遺伝子病制御研究所で研究(学位取得)
- 2020年～ 斗南病院 勤務(現職)

演者からの一言

TAPP・TEP両者を経験し、自分なりに感じるTAPPが有利な所とは

略歴

セッション5 演者

小丹枝 裕二

北海道医療センター 外科

経歴

- 2006年3月 札幌医科大学医学部卒業
- 2006年4月 恵み野病院 研修医
- 2008年4月 恵み野病院 外科
- 2009年4月 千歳市民病院 外科
- 2009年7月 北海道大学病院 消化器外科学I 医員
- 2011年4月 北海道社会保険病院(現JCHO北海道病院)外科
- 2012年4月 KKR札幌医療センター 外科
- 2013年4月 北海道大学病院 消化器外科学I 医員
- 2015年6月 西さっぽろ病院 外科
- 2016年4月 札幌北楡病院 外科
- 2017年4月 JCHO札幌北辰病院 外科
- 2018年4月 北海道大学大学院医学研究科医学専攻 博士課程修了(医学博士)
- 2018年4月 市立稚内病院外科 外科医長
- 2020年4月 北海道医療センター 外科医師

演者からの一言

術者にとってのTEPの良さ、お見せします。

協賛一覧

本研究集会の開催にあたり、下記企業様よりご協力・ご支援をいただきました。
ここに厚く御礼申し上げます。

第19回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会
当番世話人 村上 慶洋
(市立旭川病院 外科診療部長)

■共催セミナー

株式会社アムコ
コヴィディエンジャパン株式会社
株式会社メディコン

■企業展示

株式会社アムコ
コヴィディエンジャパン株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
テルモ株式会社

■広告掲載

旭化成ファーマ株式会社	日機装株式会社
エーザイ株式会社	日本ストライカー株式会社
科研製薬株式会社	株式会社八光
コヴィディエンジャパン株式会社	株式会社プロシード
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	株式会社MarbleSystems
大鵬薬品工業株式会社	株式会社ムトウ
株式会社竹山	

■募金

旭川医師会
日本ヘルニア学会北海道支部

五十音順
2023年8月10日時点



hvc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



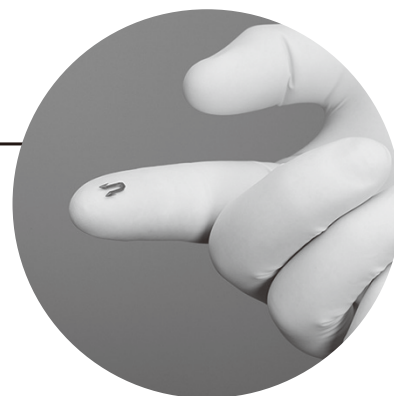
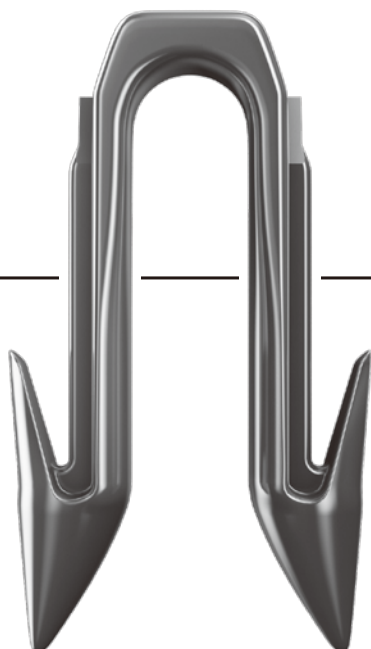
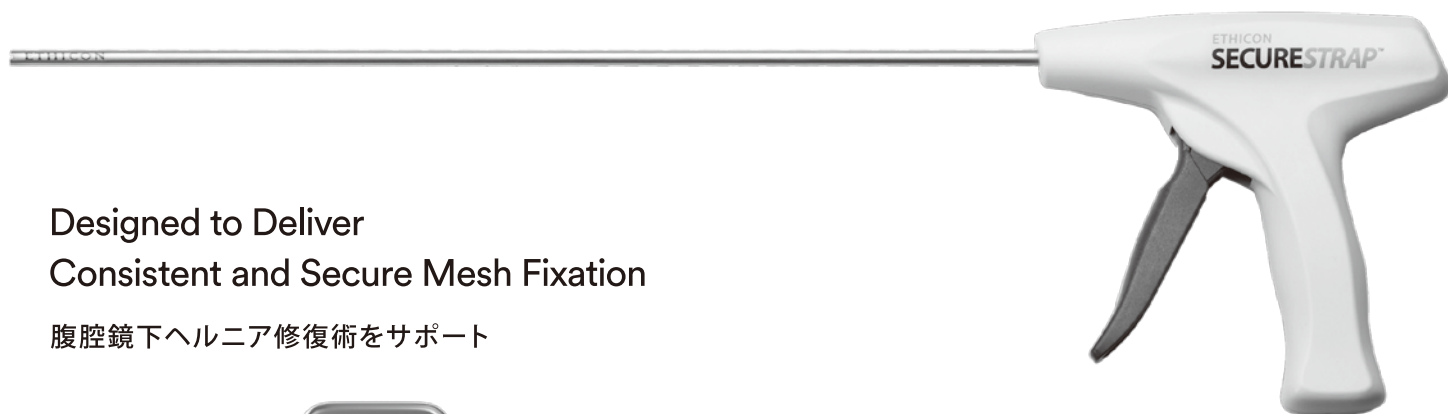
AFUTUREFREEOFLF
Global Alliance

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

ETHICON SECURESTRAP™

Designed to Deliver
Consistent and Secure Mesh Fixation

腹腔鏡下ヘルニア修復術をサポート



高度管理医療機器 販売名：セキュアストラップ 承認番号：22600BZX00516000

ETHICON
Johnson & Johnson SURGICAL TECHNOLOGIES

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2 TEL.0120-160-834

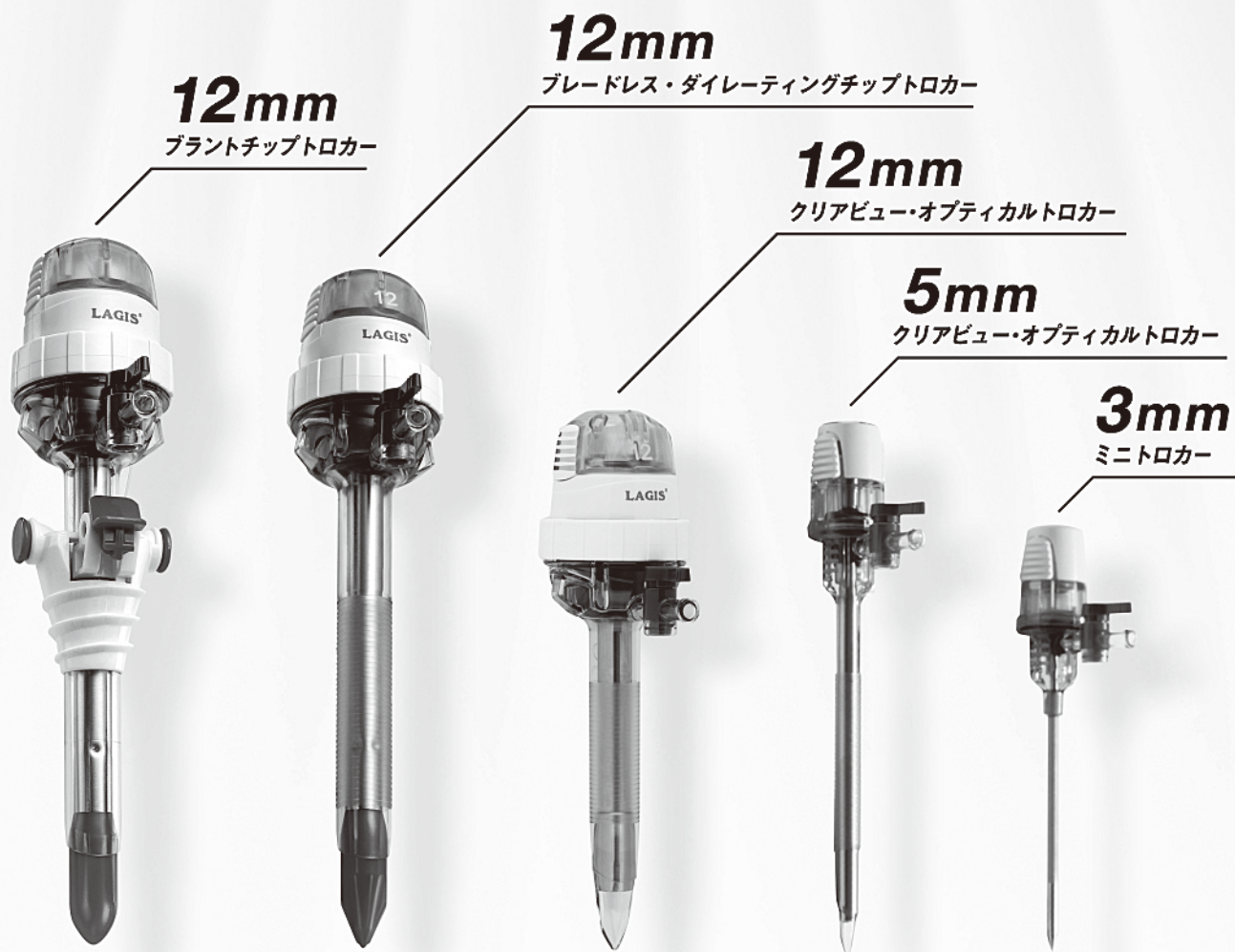
Reimagining how we heal™

230444-221020
©J&JKK 2022

※製品改良のため予告なく仕様を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

NEW released

低価格で安全性の高いトロカーに
新シリーズの登場です。



TROCAR SYSTEM
FineSEALTM TRC
Series

ラパヘルクロージャー

医療機器認証番号：21900BZX00941000 管理医療機器 単回使用ワイヤ・結さつ系パサ一

適応

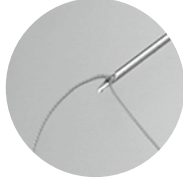
LPEC法における縫合糸の誘導 等

(LPEC法：腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術)

<縫合糸把持用ループ>



<2-0サイズ縫合糸対応>



<刃先形状>

通常タイプ



ベントチップタイプ



仕様

製品コード	サイズ	包装形態
29110910	19G×130mm	1箱5本入、1本毎ピール オープン包装、EOG滅菌済
29111030	19G×80mm	
29111090	19G×130mm ベントチップタイプ	

hakko 株式会社 八光
https://www.hakko-medical.co.jp/



販売窓口 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42番地6号 TEL:03-5804-8500 FAX:03-5804-8580
東日本：札幌 仙台 柏 本郷 横浜 長野 金沢 西日本：大阪 名古屋 静岡 岡山 松山 福岡 熊本
製造販売 〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地



WISM 21 ウィズム21
ムトウの医療総合支援システム

WISM 21は、21世紀の医療をトータルでサポートし、お客様のニーズと共に成長するシステムです。

病院の近代化が進むなか、取り巻く環境が厳しさを増しつつある医療施設において、WISM21は医療の変化に対応すべく、お客様のためにご用意させていただいた医療総合支援システムです。必要な時に必要なシステムを選び、ご利用ください。

- 医療機器の販売
- 理化学機器の販売
- 在宅医療・福祉用具の販売
- 開業医向けインターネット販売
- 中古医療機器の買取・販売
- SPD 病院管理業務の受託 (SPD、購買代行、滅菌、ME機器管理)
- 医療機器の設置・メンテナンス・保守契約
- 最新医療情報の提供
- 病院新築・改築の総合プロデュース
- コンサルティング (経営分析・診断・改善・人材育成)
- 医療廃棄物処理
- 情報システムの提案・開発
- 学会イベントの企画・運営
- 貿易 (輸入代行含む)
- 旅行・広告代理業

総合医療機器商社

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備
放射線機器・メディカルコンピューター・貿易業務・歯科機器
福祉機器・介護用品

札幌本社(北海道事業本部) / 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1番15号
TEL 011-746-5111
東京本社(東京事業本部) / 〒110-8681 東京都台東区入谷1丁目19番2号
TEL 03-3874-7141
名古屋支社(名古屋事業本部) / 〒465-0014 名古屋市名東区上菅2丁目1108番地
TEL 052-799-3011
大阪支社(大阪事業本部) / 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13番20号
TEL 06-6974-0550
福岡支社(福岡事業本部) / 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目29番27号
TEL 092-641-8161

支店 / 札幌中央・札幌西・札幌白豊・新札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見・遠紋・八雲・室蘭・苫小牧・日高・小樽・千歳・岩見沢・空知・名士・稚内
慈恵事業部・北里大学事業部・成田事業部・青森・秋田・仙台・いわき・群馬・栃木・日立・水戸・鹿島・茨城・熊谷・埼玉東・埼玉中央・所沢・足立・越谷・本郷・城北
城西・城南・城東・多摩・多摩西・武蔵野・練馬・柏・千葉西・千葉・鴨川・神奈川・横浜・横須賀・川崎・川崎北・相模・熱海・岐阜・名古屋南・伊勢志摩・三重・北勢・滋賀
北大阪・南大阪・西大阪・奈良・広島・鳥取・島根・小倉・飯塚・筑豊・大川・久留米・佐賀・大牟田・唐津

https://www.wism-mutoh.jp/

いのちの
数だけ、
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社

旭化成ファーマの医療関係者向けサイト
<https://akp-pharma-digital.com>

Pharma DIGITAL



Septrafilm
ADHESION BARRIER

承認番号20900BZY00790000

高度管理医療機器 保険適用

癒着防止吸収性バリア

セプトラフィルム®

ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース癒着防止吸収性バリア

- 禁忌・禁止を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) バクスター株式会社
東京都中央区晴海一丁目8番10号

発売元
文献請求先
及び問い合わせ先



科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

JP-AS30-220198 V1.0
SPF05CP (2022年5月作成)



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス



「医師、医療スタッフとともに
人々の生命と健康を守る」という
創業以来の使命感のもと
社会貢献度の高い仕事と
誇りを持ち、
日々努力を続けております。

生命と健康への貢献

血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

整形外科

「専門領域に特化した支援・サポート」

眼科

脳神経外科

ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。

テクニカルサポート

循環器

循環器外科

画像診断機器



株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

☎011-611-0100 (代表)

<https://www.takeyama.co.jp>

●ほくたけメディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」/札幌市中央区北11条西14丁目1番1号(ほくやくビル4F)・☎011-700-5833 <https://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏 中央支店:☎011-859-8714 北支店:☎011-789-1020 新札幌支店:☎011-859-8717
 北大支店:☎011-859-8712 札幌大支店:☎011-859-8713
 札幌駅前支店:☎011-859-8711 札幌南支店:☎011-676-6263 札幌新が丘支店:☎011-859-8722

道央・道南圏 室蘭支店:☎0143-45-1221 苫小牧支店:☎0144-53-2101 小樽支店:☎0134-29-4524
 岩見沢支店:☎0126-25-6992 函館支店:☎0138-83-5000

道東・道北圏 釧路支店:☎0154-25-2241 北見支店:☎0157-31-3224 帯広支店:☎0155-35-5800
 旭川支店:☎0166-73-3011 旭川大支店:☎0166-73-3011 旭川駅前支店:☎0166-73-3011
 空知支店:☎0125-64-3465 道北支店:☎01654-3-9955

首都圏 東京支店:☎03-3814-0103 横浜営業所:☎045-232-3310

いつもを、いつまでも。

あたり前のようにつづく毎日ほど、

かけがえないものはない。

私たちは、“いつも”を支える力になりたい。

大切な“いつも”が失われた時、

強く取り戻す力を届けたい。

いつもを、いつまでも。

私たち大鵬薬品ひとりひとりの願いです。

TAIHO 大鵬薬品



スピーディな切開
クリアな視界



マイクロ波メス
Acrosurg.[®]

承認番号：22800BZX00211000

【製造販売業者】

日機装株式会社 メディカル事業本部

東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL: 03-3443-3751

stryker

1688 AIM (Advanced Imaging Modalities) 4K platform

Native 4K

SPY Fluorescence Imaging Technology

- SPY Overlay
- SPY ENV
- SPY Contrast

Auto light

医療機器認証 / 届出番号	販売名
13B1X10209000926	1688 AIM 4Kカメラ
13B1X10209000961	1688 AIM 4Kマイクロスコープカメラヘッド
13B1X10209000927	L11 光源装置
230AFBZX00074000	ニューモクリア気腹装置
13B1X10209000892	PINPOINT カラー蛍光イメージングシステム - SPY PHI
13B1X10209000891	PINPOINT カラー蛍光内視鏡システム
13B1X10209000936	Connected OR Hub システム

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。



製造販売業者

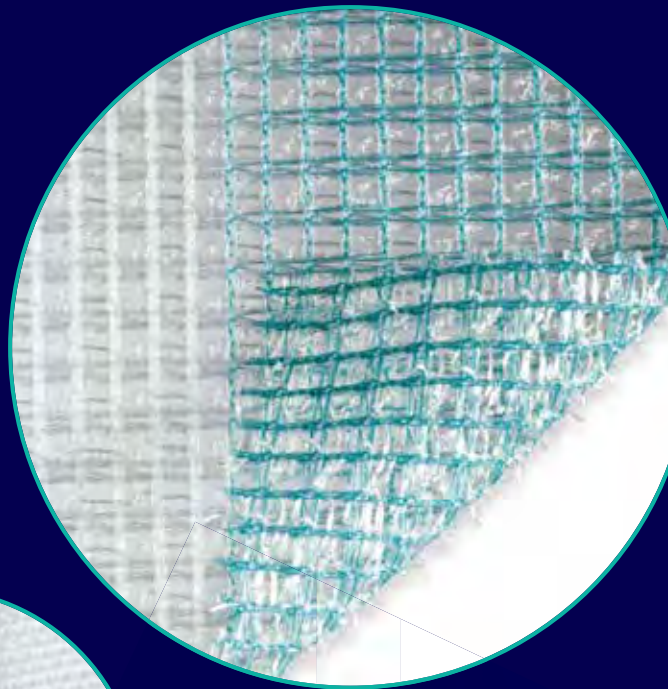
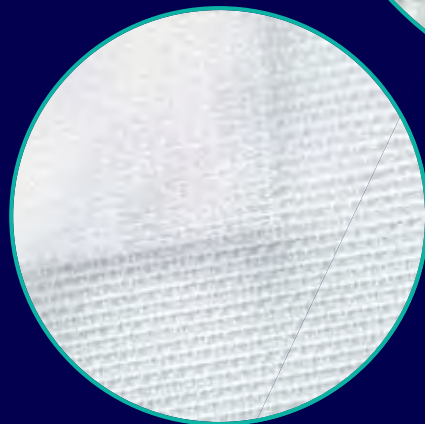
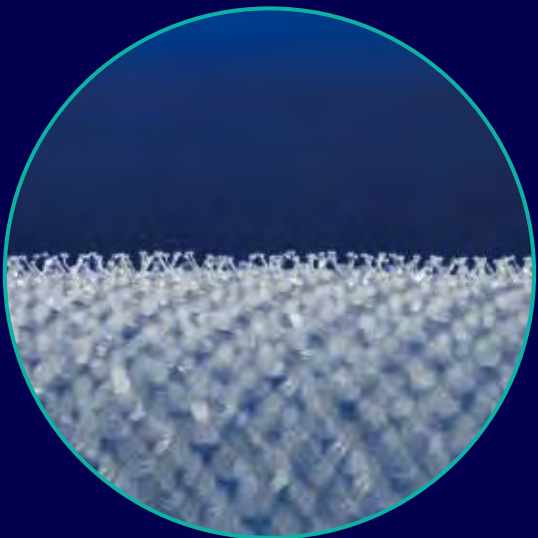
日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000

Medtronic

パリテックス™ ラップ プログリッパ™

パリテックス™ プログリッパ™ メッシュ



The right solutions when you need.

Hugo™ ブレードレストロカー
8MM STF



コヴィディエンジャパン株式会社
サージカルイノベーション

medtronic.co.jp

販売名:パリテックス プログリッパ
販売名:パリテックス ラップ プログリッパ
販売名:VersaOne Hugoシリーズ

医療機器承認番号:22100BZX00950000
医療機器承認番号:22600BZX00260000
医療機器承認番号:304ADBZX00074000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
© 2022 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

2209.sho.SI-A904